

新しい学校づくり基本計画を策定しました

～つなぐ学び ひらく未来～

御所市では、このたび「新しい学校づくり基本計画」を策定しました。

子どもたちのこれからの学びを支える新しい学校のかたちを示す計画です。

策定にあたっては、市民・教職員アンケートや説明会に加え、市民・教職員・児童生徒を対象としたワークショップなどを通じて、多くのご意見をいただきました。こうして集まった思いや願いをもとに、本計画ではコンセプトを「つなぐ学び ひらく未来」としました。子どもたちが人や地域とつながりながら学び、未来を切り拓いていく学校づくりを目指します。

その実現に向け、「TSUNAGUプラン」を柱とし、9年間の学びを一体的に捉えた教育を推進します。小学校から中学校への円滑な接続を図り、学びの段差をなくすことで、基礎・基本の確実な定着と主体的に学ぶ力を育みます。また、対話や協働を大切にした授業やICTの活用を通して、これからの社会に求められる資質・能力を育成します。

さらに、「誰一人取り残さない教育」の実現に向け、多様な子どもたち一人一人に寄り添った支援や学びの環境づくりを進めていきます。

施設整備では、「安全・安心」「多様な学び」「誰一人取り残さない」「地域とのつながり」「教職員の働きやすさ」といった視点を大切にし、これからの学びにふさわしい教育環境を整備します。あわせて、地域に開かれた学校として、学校と地域がつながる拠点となることも目指します。

今後は、本計画に基づき、施設整備や教育内容の具体化を段階的に進め、令和13年4月の開校を目指します。なお、基本計画の概要版および詳細は、御所市ホームページに掲載しています。下記のQRコードからごらんいただけますのでぜひごらんください。

新しい学校づくりは、地域の皆様とともに創り上げていくものです。

「つなぐ学び ひらく未来」の実現に向け、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。



【子どもワークショップの様子】